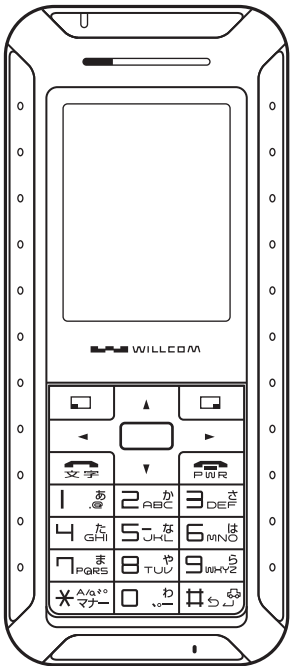
X PLATE

WX130S 取扱説明書



お使いになる前に
基本操作
電話をかける／受ける
文字入力
電話帳
メール
音・表示・照明の設定
カレンダー
セキュリティ
海外で使う
その他の機能
ウィルコムの各種サービス
データフォルダ
付録

SII

セイコーインスツル株式会社

無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。
本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害およびその回復に要する費用に対し、弊社は一切の責任を負いません。
本製品が不要になったときはモバイルリサイクルネットワークのマークのある販売店へお持込ください。
やむを得ず廃棄する場合には地方自治体の条例に従ってください。

SII はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。
Microsoft®およびWindows®は、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
その他、記載されている会社名、システム名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)の Advanced Wnn V1 を使用しています。
Advanced Wnn V1 (c) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2002-2007 All Rights Reserved.

はじめに

このたびは、「WX130S」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、本書をよくお読みになり、本電話機を正しくお取り扱いください。また本書は大切に保管してください。

注　意

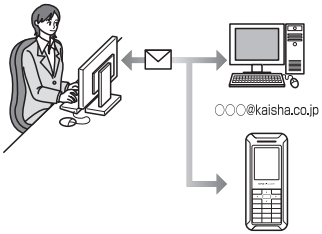
本書の内容は予告なしに変更する場合がございます。

こんなことができます

電話機能のほかにも、便利に使える機能があります。

Eメール

ウィルコムのEメールのほか、パソコンなどで使っているメールアドレスのEメールが送受信できます。

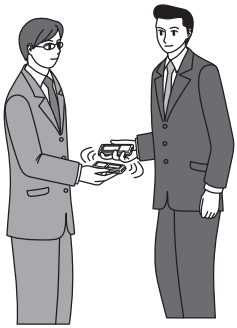


ライトメール

ウィルコムの対応機種同士でリアルタイムなやり取りができます。

赤外線通信

赤外線通信対応の電話機同士で電話帳データをやり取りできます。



国際ローミング

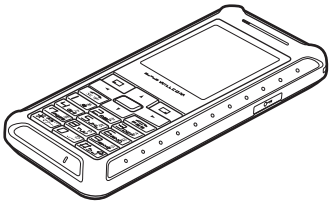
台湾・タイで利用できます。

PIMカード

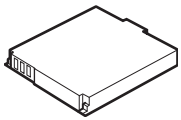
中国で発売されている PIM カードを挿入すると、中国内の電話機と同様に利用できます。

セットを確認する

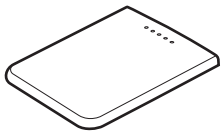
本体



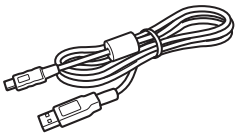
電池パック



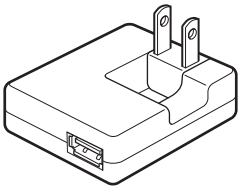
バッテリーカバー



USBケーブル



電源アダプタ



取扱説明書（本書）／保証書（本書裏面）

目次

はじめに 1

こんなことができます 2
- Eメール 2
- ライトメール 2
- 赤外線通信 2
- 国際ローミング 2
- PIM カード 2

セットを確認する 3

目次 4

安全上のご注意 9
- WX130S 本体、電池パック、電源アダプタ共通 10
- WX130S 本体について 11
- 電池パックについて 13
- 電源アダプタについて 14
- 知っておいてください 15

お取り扱い上のご注意 15
- WX130S 本体、電池パック、電源アダプタ共通 15
- WX130S 本体について 16
- 電池パックについて 16
- 電源アダプタについて 17

本書の読み方 17

お使いになる前に 19

各部の名前と機能 20
- 本体 20
- ディスプレイ 21
- 待受画面メッセージ 22

電池パックを取り付ける 22

充電する 23
- 電池残量の確認 24

電源を入れる／切る 24

機能の呼び出しかた 25
- キー操作の基本 25
- メニューから選択する 25
- 操作中のメニューを使う 27

暗証番号について 28

発信者番号通知について 29

日付・時刻の設定 29
- 日付と時刻を設定する 29

プロフィールの設定 30
- プロフィールを表示する 30
- 編集する 30

基本操作 31

電話をかける 32

電話を受ける 32

発信履歴・着信履歴を確認する 33

電話帳を利用する 34

文字を入力する 34

メールを送信する 35

メールを読む 35

電話をかける／受ける 37

電話をかける 38
- 発信者番号の通知／非通知を指定して電話をかける 39

電話を受ける 39
- エニーキーアンサーを設定する 39
- 電話に出る前に着信音を止める 40
- 着信中に留守応答する 40

通話中の操作 40
- 強い電波をサーチする 40
- 受話音量を調節する 40
- 通話を保留する 41
- 通話中に電話番号をメモする 41
- 通話中の相手の声を録音する 41
- 通話中の着信を設定する 42

発信履歴・着信履歴 42
- 発信履歴を確認する 42
- 着信履歴を確認する 43
- 履歴アイコンについて 43
- 発信履歴・着信履歴から電話をかける 43
- 発信履歴・着信履歴を消去する 44

マナーモードの設定 45
- マナーモードを起動／解除する 45
- マナーモードを編集する 45

留守番電話の設定 46
- 留守番電話を設定／解除する 46
- 応答メッセージを設定する 46
- 録音メッセージを再生／削除する 47

安全運転モードの設定 47
- 安全運転モードを起動／解除する 47
- 安全運転モードを選択する 48

文字入力 49

文字入力について……50
文字の入力画面について……50
入力モードの切り替えについて……50
文字入力画面でのキー割り当てについて……51
文字を入力する……52
漢字やひらがなを入力する……52
カタカナを入力する……53
英字を入力する……54
数字を入力する……55
記号／絵文字を入力する……55
SJIS コードで入力する……57
文字を修正する……58
文字を消去する……58
文字をコピー／切り取りする……59
コピー／切り取りする……59
コピー／切り取りした文字を貼り付ける……59
予測機能の利用について……59
予測機能で文字を入力する……59
予測機能を設定／解除する……60
学習内容をリセットする……60
定型文の利用について……60
定型文を利用する……60
定型文を編集する……60
定型文をリセットする……61
アドレス記号の利用について……61
アドレス記号を引用する……61
アドレス記号を編集する……61
アドレス記号をリセットする……62
顔文字の利用について……62
顔文字を利用する……62
顔文字を編集する……62
顔文字をリセットする……63
絵文字／ Web 用絵文字の利用について……63
絵文字を利用する……63
Web 用絵文字を利用する……63
ユーザ辞書の利用について……64
単語を登録する……64
単語を編集する……64
単語を消去する……64

電話帳 65

電話帳の登録内容……66
電話帳に登録する……67
新たに登録する……67
履歴から登録する……67
履歴から登録データに追加する……68
電話帳の利用について……69
電話帳を検索する……69
電話帳から電話をかける……70
電話帳から E メールを作成する……70
電話帳からライトメールを作成する……70
電話帳の編集／消去について……70
電話帳を編集する……70
電話帳データを消去する……71
グループ設定について……71
グループ名を設定する……71
グループの音声着信音を設定する……71
グループのライトメール着信音を設定する……72
グループ設定をリセットする……72
電話帳の登録件数を確認する……72
電話帳の表示を設定する……73
シークレットデータの表示／非表示を切り替える……73
電話帳の閲覧を制限する……74
電話帳を初期化する……74

メール 75

E メール／ライトメールについて……76
E メールについて……76
ライトメールについて……76
E メールの送受信について……77
オンラインサインアップをする……77
オンラインサインアップを消去する……77
E メールを作成／送信する……77
E メールを作成して送信する……77
ファイルを添付する……78
E メールを保存する……79
ライトメールを作成／送信する……79
ライトメールを作成して送信する……79
ライトメールを保存する……80
E メールを受信する……80
自動で受信する……80
サーバから手動で受信する……81
ライトメールを受信する……82
受信 BOX について……83
受信したメールを表示する……83
受信メールの一覧表示を切り替える場合は……84

返信する……84
引用してメールを返信する……84
転送する……85
受信メールをフォルダに振分ける……85
フォルダ名を編集する……85
振分けの条件を設定する……86
振分けを実行する……86
振分けを解除する……86
振分けのすべての設定を解除する……86
送信 BOX について……87
送信したメールを表示する……87
送信メールの一覧表示を切り替える場合は……87
メールを編集して送信する……87
メール一覧画面での操作……88
E メールを消去する……88
ライトメールを消去する……89
メールを保護する……90
メールを並べ替える……91
メール詳細画面での操作……93
本文をコピーする……93
添付ファイルを表示／保存する……93
文字サイズを変更する……93
差出人と宛先をすべて表示する……94
メール内の電話番号／メールアドレス……94
プロバイダのアカウントを利用する……95
アカウントを設定する……95
アカウントをリセットする……96
アカウントを選択する……96
ダイヤルアップ接続先を設定する……97
ダイヤルアップ接続先をリセットする……98
接続先を選択する……98

音・表示・照明の設定 99

着信音の設定……100
着信音を設定する……100
音量を設定する……100
振動を設定する……100
メール受信時の鳴動時間を設定する……101
効果音の設定……101
表示の設定……102
壁紙を設定する……102
時計やカレンダーの表示を設定する……102
照明の設定……103
バックライト点灯時間を設定する……103
表示時間を設定する……103

カレンダー 105

カレンダーの利用……106
カレンダーを操作する……106
スケジュールを登録する……106
スケジュールを編集する……107
スケジュールを 1 件消去する……108
スケジュールを日別に全件消去する……108
スケジュールを全件消去する……108
スケジュールを一覧で表示する……108
スケジュールの登録件数を確認する……108

セキュリティ 109

暗証番号の設定……110
暗証番号を変更する……110
シークレットモードの利用……110
シークレットモードを設定する……110
シークレットモードを解除する……110
機能制限の利用……111
発信を制限する……111
電話帳の利用を制限する……111
メールの利用を制限する……111
履歴閲覧を制限する……111
録音再生を制限する……112
パスワードキーロックを設定する……112
着信拒否の利用……112
電話番号を指定して着信を拒否する……112
非通知の着信を拒否する……113
公衆電話の着信を拒否する……113
通知不可能の着信を拒否する……113
着信拒否の設定をすべて解除する……114
発信者番号通知の設定……114
発信先限定の設定……115
リモートロックの利用……115
リモートロックパスワードを設定する……116
ライトメール利用のリモートロックを設定する……116
ライトメールからリモートロックを起動する……117
サブアドレス利用のリモートロックを設定する……117
サブアドレス番号からリモートロックを起動する……118
メモリや設定のリセット……118
本体のメモリを一括消去する……118
設定をリセットする……118
メモリ消去とリセットを一度に実行する……119

海外で使う 121

国際ローミング設定 122
国際ローミングの利用を申し込む 122
国と地域を選択する 122
ローミング情報を手動で登録する 123
ローミングを自動で検出する 123
PIM の設定 124
PIM カードの利用を設定する 124
PIN コードを設定する 124
海外で電話をかける 125

その他の機能 127

アラームの利用 128
アラームを設定する 128
アラーム音を止める 129
アラームの設定を変更する 129
電卓の利用 130
メモ帳の利用 130
メモ帳を登録する 130
メモ帳の詳細を表示する 130
メモ帳の内容を消去する 131
赤外線通信を利用する 131
赤外線で送信する 132
赤外線で受信する 132
累積通話時間を知る 133
待受中に音声を録音する 134
電波の送出を停止する 135
通信中の着信を設定する 136
位置情報機能の利用 136
位置情報通知を設定する 136
位置情報を自動送出する 137
国際電話をかける 138
パソコンの利用 138

ウィルコムの各種サービス 141

留守番電話／着信転送サービスの利用 142
留守番電話サービス 142
着信転送サービス 142
留守番電話／着信転送サービスの設定をする 142
留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く 143
分計サービスの利用 143
分計で電話をかける 143

データフォルダ 145

データフォルダについて 146
フォルダの種類 146
ファイルの操作 146
ファイルを表示／再生する 146
ファイル名を編集する 146
ファイルを E メールに添付する 147
ファイルの詳細を確認する 147
ファイルを消去する 147
画像ファイルを壁紙に設定する 148
サウンドファイルを着信音に設定する 148
フォルダの管理 149
データフォルダの容量を確認する 149
フォルダ内のファイルを一括消去する 149
データフォルダ内のすべてのデータを消去する 149

付録 151

機能一覧 152
メール 152
データフォルダ 153
機能設定 153
電話帳 155
留守番電話 155
アラーム 155
セキュリティ 156
こんなときは 157
本体について 157
E メール／ライトメールについて 158
エラーメッセージ一覧 160
記号一覧 163
半角記号 163
全角記号 163
絵文字一覧 164
絵文字 164
Web 用絵文字 164
アニメーション絵文字 165
顔文字一覧 167
アドレス記号一覧 167
定型文一覧 168
SJIS コード一覧 169

アフターサービスについて 185
■保証書について 185
■修理を依頼されるときは 185
■アフターサービスについてご不明の場合 185
お問い合わせは 186
主な仕様 187
スペック一覧 188
Eメール 188
ライトメール 188
データフォルダ 188
索引 189

安全上のご注意

「安全上のご注意」では、本機をご使用になる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。
記載内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を以下のように説明しています。
次の表示区分は、表示内容を守らず誤った使用をした場合に生じる危機や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合「人が死亡または重傷*1 を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合「人が死亡または重傷*1 を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合「人が傷害*2 を負う可能性が想定される場合及び物的損害*3 の発生が想定される」内容です。

*1「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を必要とするものを指します。
*2「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
*3「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	接触禁止	触れてはいけないことを示す記号です。
強制	強制（必ず実行していただくこと）を示します。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

免責事項について

・地震、雷、風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・大切なデータは、コンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

WX130S本体、電池パック、電源アダプタ共通

WX130S本体、電池パック、電源アダプタのそれぞれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠危険

必ず専用の周辺機器をご使用ください。
専用の周辺機器以外を使用すると破裂、発火、火災、漏液の原因となります。
〈周辺機器〉
電池パック、電源アダプタ

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。
ガスに引火し、破裂、発火、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電もしないでください。

火の中に投入したり加熱しないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接続端子に接触させたり、内部に入れたりして接続端子をショートさせないでください。
破裂、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

⚠警告

加熱用機器（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

分解や改造をしないでください。
故障、発火、感電、傷害の原因となります。修理などはウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなど異常が起きたら直ちに使用を中止してください。
異常が起きた場合は電源を切り、電池パックを外してウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。
そのまま使用すると、破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

通電状態で接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。
感電、けがの原因となります。

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、ぬれた手での使用は絶対にしないでください。
電子回路のショートにより発熱、感電、火災、故障の原因となります。万一液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

水にぬれたり、落下したり、破損したりした場合などはそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

⚠注意

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
けがなどの原因となります。

直射日光の当たる場所（自動車内など）、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
破裂、発火、火災の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下してけがの原因となります。また、WX130S が振動設定になっている場合、振動により落下する可能性があるため特にご注意ください。

外部から電源が供給されている状態の WX130S 本体、電池パック、電源アダプタに長時間、触れないでください。
低温やけどの原因となります。

WX130S本体について

⚠警告

自動車、バイク、自転車などの運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。自動車、バイク運転中のPHSの使用は法律で禁止されています。

航空機の機内では電源を切ってください。
電波が電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用は法律で禁止されています。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くで PHS を使用される場合は、電波によりそれらの装置、機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、PHS を心臓ペースメーカーなどの装着部から 22 cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、PHS の電源を切ってください。
3. 医療機関の屋内では以下のことに注意して使用してください。
   ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはPHSを持ち込まない。
   ・病棟内では、PHSの電源を切る。
   ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電源を切る。
   ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここに記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月「不要電波問題対策協議会」〈現電波環境協議会〉）に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。
PHS については平成 12 ～ 13 年度に調査が行われ、平成 17 年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。

高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。
電子機器に影響を与える場合があります。
〈影響を与えるおそれがある機器の例〉
心臓ペースメーカー、補聴器、その他の医用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。
医用電子機器をお使いの場合は、電波による影響について機器メーカーまたは販売者にご確認ください。

通話、メールなどをするときは周囲の安全を確認してください。
安全を確認せずに使用すると、転倒、交通事故の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちにWX130Sの使用を中止してください。
落雷、感電の原因となります。

雨天、降雪中、海岸、水辺などで使用する場合の水ぬれや湿気、身に付けている場合は汗による湿気にご注意ください。
感電や電子回路のショートの原因となります。

WX130Sが落下により破損し、電話機内部が露出した場合、露出部分に手を触れないでください。
感電したり、破損部でけがをすることがあります。ウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

心臓の弱い方は振動設定や音量の大きさの設定にご注意ください。
心臓に影響を与える可能性があります。

暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。
強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、ごくまれに筋肉のまひや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。

通常は、USB 端子カバー、電池カバーなどをはめた状態で使用してください。
カバーをはめずに使用していると、ほこりや水などが入り、感電や電子回路のショートの原因となります。

⚠注意

WX130Sに取り付けたハンドストラップなどを持って振り回さないでください。
けがの原因となります。

キャッシュカードやフロッピーディスク等の磁気を帯びた記録媒体や電子機器、金属製品を近づけないでください。
磁気データの消失の原因となります。

皮膚に異常を感じたときは、直ちに使用をやめ、皮膚科専門医へご相談ください。
お客様の体質、体調によってはかゆみ、かぶれ、湿疹などを生じる場合があります。
本製品は、以下に記載の材料、表面処理を施しております。

- **外装ケース(黒)**
  ポリカーボネイト樹脂
- **外装ケース(銀)**
  ポリカーボネイト樹脂
  アクリル系UV硬化塗料
- **ディスプレイ**
  アクリル樹脂
- **LEDレンズ（充電着信ランプ）**
  アクリル樹脂
- **キーロックボタン**
  ポリカーボネイト樹脂
- **赤外線ポート**
  ポリカーボネイト樹脂
- **充電端子／USB端子カバー**
  ポリウレタン樹脂
- **左・右ガイドキー、カーソルキー、センターキー、通話キー、電源・終話キー、ダイヤルキー、＊キー、＃キー**
  ポリカーボネイト樹脂
  アクリル系UV硬化塗料
- **ねじ**
  鉄
  Znメッキ

禁止

受話音量を上げたまま、長時間の通話に使用しないでください。スピーカーに耳を近づけないでください。
聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

ズボンやスカートの後ろポケットにWX130Sを入れたままイスなどに座らないでください。また、カバンの底など無理な力がかかるような場所に入れないでください。
破損の原因となることがあります。

電池パックについて

共通の注意事項（WX130S 本体、電池パック、電源アダプタ）についての記載も必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険

強制

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などと接続端子が触れないようにしてください。
電池パックがショートし、過大な電流が流れ、破裂、発火、発熱の原因となります。

禁止

クギを刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、落下させたりしないでください。
破裂、発火、発熱の原因となります。

強制

内部の液が目に入った場合は、こすらずすぐにきれいな水で十分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると失明するおそれがあります。

⚠警告

強制

漏液したり、異臭がするときは直ちに使用を中止してください。また、万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、破裂、発火の原因となります。

強制

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。また、皮膚に異常を感じた時には、直ちに皮膚科専門医へご相談ください。
皮膚がかぶれたりする原因となります。

強制

所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、直ちに充電をやめてください。
電池パックの液漏れ、破裂、発火、火災、発熱の原因となります。ウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

⚠注意

禁止

不要な電池パックは、一般のゴミといっしょに捨てないでください。
環境保護のため、お近くのウィルコムプラザまたはモバイル・リサイクル・ネットワークのあるお店にお持ち下さい。

Li-ion

電源アダプタについて

⚠警告

禁止

雷が鳴りだしたら、電源アダプタに触れないでください。
落雷による感電などの原因となります。

禁止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。
発火、火災、発熱、感電などの原因となります。

禁止

電源アダプタをコンセントに差し込む場合、プラグに金属性のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。
発火、火災、感電、けがの原因となります。

電源プラグを抜く

充電時以外は電源アダプタをコンセントから抜いてください。
発火、火災、感電の原因となります。

強制

プラグはコンセントの根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

禁止

充電中は布やふとんをかぶせたり、包んだりしないでください。
発火、火災の原因となります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
たこ足配線などで定格を越えると、発火、火災、発熱の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたまま使用したりしないでください。また、傷んだまま使用しないでください。
発火、火災、感電、ショートの原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

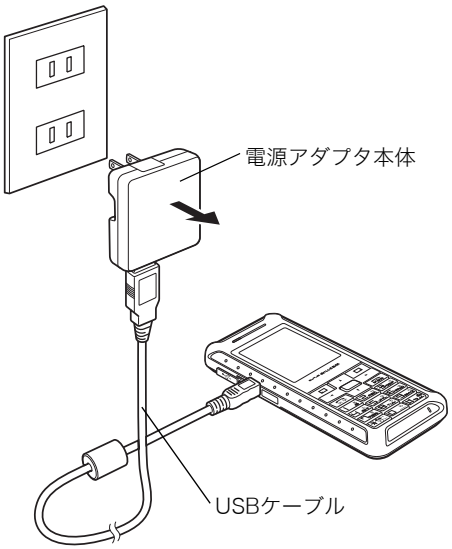
お手入れをするときは、電源アダプタをコンセントから抜いてください。
抜かないでお手入れをすると感電や発火、火災の原因となります。

強制

プラグに付いたほこりは拭きとってください。
そのまま使用すると、発火、火災の原因となります。

強制

プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源コード、及びプラグが損傷し、発火、火災、感電の原因となります。



知っておいてください

劇場や映画館、レストランやホテルのロビー、図書館、病院など、人の多い場所や静かな場所では電源を切るか、周りの方の迷惑にならないように注意してください。

回線が混み合っていると、電波状態が良好でも発信したときに「ツーツー…」という音が鳴って使用できないことがあります。少し待ってからお使いください。

お取り扱い上のご注意

WX130S本体、電池パック、電源アダプタ共通

無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し、故障の原因となります。ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になったりしないようにご注意ください。外部に破損がなくても、保証の対象外となります。

極端な高温、低温、多湿はお避けください。周囲の温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内で使用してください。

ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

WX130S本体の電源コネクタ、充電端子、USB端子をときどき乾いたきれいな綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき電源コネクタを変形させないでください。

汚れた場合はやわらかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使用すると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。

一般電話、テレビ、ラジオなどを使っている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れて使用してください。

通話中、メールなどの利用中や充電中などに、温かくなることがありますが異常ではありません。

電池パックは、電源を切ってから取り外してください。

電源アダプタを海外で使用する場合は、入力電圧が電源アダプタ規定の電圧範囲内にあることを確認してからご利用ください。

WX130S本体について

WX130S で使用しているディスプレイは非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。本体を振り回したりそらしたりして、本体に無理な力が加わると破損やケガの原因となりますので取り扱いには十分ご注意ください。

強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となることがあります。

ディスプレイを硬いものでこすったりして傷つけないようにご注意ください。

ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。また、金属などの硬い部材のストラップは、ディスプレイのキズの発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。

受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央部に当たるようにしてお使いください。受話口の穴が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。

寒い屋外から急に温かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、WX130S内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。

エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。

データを再生中に無理なキー操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。

電話帳やメモ帳などに登録した内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって、変化・消失する場合があります。大切な内容は手帳などに控えておいてください。なお、事故や故障が原因で、電話帳やメモ帳などが変化・消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電池パックについて

WX130Sの電池パックは、リチウムイオン電池（リチウムポリマーバッテリー）です。

夏季、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。

長時間使用しない場合には、本体から外し、ケース等に入れて高温多湿を避けて保管してください。

はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

電池は消耗品です。使用できる時間が最初に比べて約半分程度になると交換時期です。なお、寿命は使用状態によって異なります。

環境保護のため、不要になった電池は廃棄しないで、ウィルコムプラザ、ウィルコムカウンターまたはモバイルリサイクルネットワークマークのある販売店へお持ち下さい。

電源アダプタについて

ご使用にならないときは、電源アダプタの電源プラグをコンセントから外してください。

充電中に周囲の温度が高すぎたり低すぎたりすると、保護機能がはたらいて充電が停止し、フル充電できないことがあります。周囲の温度が5 ℃～35 ℃の場所にしばらく置くと、充電を再開します。

WX130S本体の充電端子、電源アダプタの充電端子はときどき乾いたきれいな綿棒で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。

本書の読み方

操作方法について詳しくは、「機能の呼び出しかた（P.25）」をご覧になり本書をお読みください。

また、本書をご覧になるうえでの注意点や補足事項、ヒントは次の表示方法で説明しています。

■ 注 意 ■
注意事項が記載されています。

補 足
●補足事項が記載されています。

ヒント
■利用上のヒントが記載されています。

本書をお読みになる場合の留意点
本書は、お買い上げ時の設定を基に説明しています。お買い上げ後の設定変更によって動作が異なる場合がございます。

誤った操作方法や機能に制限のある場合などは、待受画面にメッセージが表示されます。メッセージの内容をご確認のうえ、操作を行ってください。

本書で掲載している画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合がございます。